

社会福祉法人 **北海道光生舎**

# 「企業授産」のパイオニアとして

社会福祉法人北海道光生舎は、昭和31年、「赤平ドライクリーニング工場」として創業しました。

両腕を事故でなくした創業者の高江常男が、障がいがあっても働く職場をつくろうと自ら事業を興したのが始まりです。

地域の課題をビジネスの手法で解決しようと試みる、いわば「ソーシャルビジネス」の先駆けのような取り組みでした。

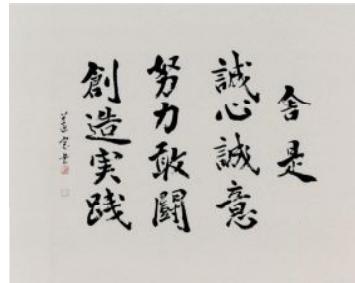
創業から2年後に社会福祉法人化しましたが、

企業としてスタートした創業の精神は、いまも脈々と受け継がれています。

## 法人概要

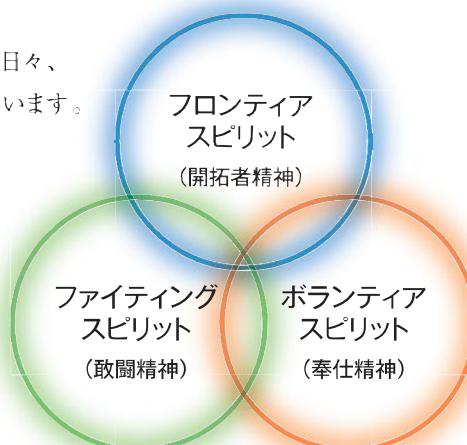
- 設立／1956(昭和31)年9月
- 代表者／高江智和理
- 売上高／59億円(2019年度)
- 従業員数／840名(2020年6月30日現在)
- 利用者数／980名(2020年6月30日現在)
- 授産内容／ホームクリーニング、ホテルリネンサプライ、ダイアパー、病院寝具、ダストコントロールほか
- 事業内容／障害者支援施設、障害福祉サービス事業所、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、救護施設ほか計19カ所、障害者グループホーム25カ所
- 関連企業／株式会社光生舎、株式会社北海道シーアイシー研究所、株式会社光生舎モータース、他

## 理念



## 光生舎の 3つの精神

職員はいつも以下の3つを日々、己に問い合わせ仕事をしています。



## Message

# これまでも、これからも 企業的経営を貫いて



北海道光生舎 理事長  
高江 智和理

北海道光生舎は社会福祉法人でありながら、一般企業と同様、ビジネスの視点で経営されています。たとえば社会福祉法人の会計が普通単式簿記なのに対し、我々は創業時から一貫して企業会計を採用してきました。

通常、障害者総合支援法で定められた就労継続支援B型の事業所は、収入から支出を差し引いて残った利益を利用者に分配するのが原則です。しかし、企業会計では利益を設備投資にまわして減価償却ができる。つまり成長が見込めるのです。国の助成金に頼らずとも資金の借り入れができ、大がかりな設備投資で生産性を上げて、結果利益を増やし、利用者の作業工賃を上げることも可能です。

このように、一般企業と十分に競い合える仕事をしたいという当法人の考えは、創業時から変わりません。我々は「企業授産」と表現していますが、こうした理念を貫けば、障がいのある人も自らの手で経済的な自立を勝ち取ることが可能だと考えます。

かつて福祉の分野は利潤追求とは相容れないという意見が根強くありました。最近はようやく「福祉こそ経営が重要」といわれるようになりました。これからも誰もが自信と誇りと生きがいを持って暮らせる社会の実現のために、永続的な事業の継続に努めてまいります。

# 働く喜びと誇りを、すべての人々に

北海道光生舎が就労支援施設として経営しているのは、クリーニングの工場です。クリーニングは仕分け、洗浄、乾燥、仕上げ、包装、配送など工程が多く、機械化も進んでいるため、作業を細分化すれば障がい者も十分に仕事を担当できるからです。

営業・集配を担当するのはグループ企業である(株)光生舎。工場では職業指導員が中心となり、利用者と一般雇用の従業員がチームを組んで、同じ仲間として共に働きます。たとえ障がいが重い人でも座ったままタオルをたたむような軽作業を担当できるほか、希望すれば健常者と同様8時間勤務も可能です。作業工賃は個々の能力に応じて支給されるので、誰もが働く喜びと誇りを実感できます。

## 業務内容



光生舎スクエア



ホームクリーニング工場



アイロン掛け作業

## ホーム クリーニング

一般家庭から集荷したスーツやワイシャツなどの衣類を中心にクリーニングしています。そのほかユニフォームのレンタル・クリーニング、毛皮・皮革・和服など高級品のクリーニングも担当。赤平市の工場で作業しています。

- 光生舎クリーナース
- 光生舎ワークショップ
- 光生舎ライト・プラザ
- 光生舎スクエア

## ホテル リネンサプライ

シーツ、ホーフ、タオル、浴衣、ピロケース、テーブルクロスなどの繊維製品をクリーニングしてホテルへレンタルするリネンサプライを行っています。営業範囲は札幌圏から増雲峠、登別、ニセコなどまで広範囲に及びます。工場は札幌と赤平の2カ所ですが、赤平工場では布団と絨毯のクリーニングも行っています。

- 光生舎エルム・ソーイング
- 光生舎ワークショップⅡ
- 光生舎フロンティア



赤平ホテルリネンサプライ工場



工場内のバッゲシステム連続洗濯機



光生舎フロンティア



## ダスト コントロール

ホコリやチリなどのダストを吸着する玄関マットや掃除用モップなどのレンタル商品(リースキン)の洗浄や再生加工を行っています。札幌市の光生舎プラザ・イン・サッポロで担当しています。

● 光生舎プラザ・イン・サッポロ

## ダイアパー 私物衣類

病院や介護施設で使用されるダイアパー(布おむつ)やタオル類の洗濯・リースを行うリネンサプライです。また、患者さんや施設利用者さんの私物衣類のクリーニングも引き受けています。歌志内市の工場で行っています。

● 光生舎クリーン・セブン



## 病院寝具

医療関連専門のクリーニングです。患者用のシーツやタオル、入院着、医療スタッフの白衣などのクリーニングやリースを行っています。そのほか病院関連のテレビや床頭台、ベッドなどのリース、レンタル布団も取り扱っています。

● 光生舎メディック・エル



Pick<sup>up!</sup>

## 日本初！スチームボイラーのないクリーニング工場

### [光生舎フロンティア]

2014年4月に札幌市にオープンした光生舎フロンティア(就労継続支援A型事業所)は蒸気を一切使わないスチームレス工場。オランダやドイツから輸入した最新設備を、日本で初めて導入しました。



配管からの放熱口が多いスチームに対し、最新設備はエネルギーのムダがありません



機械化すれば障がい者中心の少ない人数で稼働が可能。将来的な人手不足も心配無用です

# 暮らしの困難を乗り越えて

障がいのある人も、高齢の人も、生活に困っている人も、誰もが助け合いながら、思い思いに暮らせる地域社会をつくりたい。北海道光生舎はそうした思いで、身体障がい者の職場づくりからスタートし、支援の対象を知的障がい者、精神障がい者、高齢者、生活困窮者などへと広げてきました。また、事業エリアも赤平市から歌志内市、札幌市へと展開してきました。

入所施設、通所施設、グループホーム、介護施設、救護施設など幅広い形態が揃っているので、自宅から通って日中活動へ参加したり、グループホームに暮らして工場に勤務したりと、希望にそった暮らし方を選択できます。いつか年齢を重ねて介護が必要になったとしても、住み慣れた地域で安心して暮らすことが可能です。

## サービス内容

### 障がい者福祉

全ての人が障がいの有無によって分け隔てられることなく、地域の中で暮らせるよう、日常生活や社会生活を送るために必要な支援を行っています。赤平市には入所施設、通所施設、グループホームなどさまざまな形態があるので、希望にあった利用が可能です。札幌市にもグループホームを2カ所設置しています。

- 〈障害者支援施設〉光生舎虹の里
- 〈障害者支援施設〉光生舎フーレビラ
- 〈共同生活援助事業所〉ケアホーム メイブル
- 〈共同生活援助事業所〉グループホーム パル
- 〈共同生活援助事業所〉グループホーム ピノ



光生舎虹の里



光生舎虹の里／食堂大ホール



光生舎フーレビラ



若木町グループホーム



施設内の居室



リハビリ風景



ケアハウス すいこう



しらかば荘



光生舎ゆいま～る・もみじ台



もみじ台／機能訓練スペース



食事介助風景

## 高齢者福祉

歳をとて体が不自由になつても、住み慣れた地域で暮らしたい。そうしたニーズに応えられるよう、赤平市・歌志内市・札幌市で高齢者向けの介護施設を運営しています。また、家庭の介護負担を軽減するための短期入所やデイサービスも提供しています。「このまちに光生舎があつてよかった」と思つてもらえるような介護事業が目標です。

- 〈軽費老人ホーム〉ケアハウス すいこう
- 〈特別養護老人ホーム〉しらかば荘
- 〈特別養護老人ホーム〉光生舎ゆいま～る・もみじ台



親愛の家／食堂



親愛の家

## その他

経済的に困窮している人から、アルコールや薬物依存症に苦しむ人、社会復帰を目指す触法者まで、社会で生きにくさを感じる人たちを幅広く支援しています。また、障がいのある子どもたちのデイサービスも開設。地域に求められているサービスを提供するのがモットーです。

- 〈救護施設〉親愛の家
- 〈指定特定相談支援事業所〉そうだんのていく
- 〈放課後等デイサービス事業所〉きつずでいく
- 〈放課後等デイサービス事業所〉きつずでいくあしべつ



そうだんのていく／相談風景

Pick up!

## 特別養護老人ホームと障がい者の就労支援をドッキング！

### [光生舎ゆいま～る・もみじ台(札幌市)]

特別養護老人ホーム「光生舎ゆいま～る・もみじ台」には、障害福祉サービス事業所「光生舎く・る・る」を併設。老人ホームのシーツ交換や清掃、洗濯、施設内にある喫茶コーナーの配膳などは障がいのある人が仕事として担当し、就労の場としても機能しています(就労継続支援A・B型)。



喫茶の様子



ベッドメイク作業

# このまちで、ともに生きる喜びを

北海道光生舎の施設の多くは、市民の暮らしと交わるように、まちの中心部に建てられています。障がい者や高齢者が孤立を深めるのではなく、家族や地域の人とふれあいながらいきいきと生きていけるように。クリーニングという仕事を通して社会とつながれるように。誰もが生きる喜びを実感できるような、そんな地域社会の実現を目指しています。

支援する側、される側の二分法ではなく、誰もが助けたり助けられたりしながら暮らすことのできる社会へー。我々の挑戦はまだまだ続きます。

つばん丸  
クルーズ旅行



## 利用者希望旅行

オーストラリア旅行



香港旅行



みんなと一緒に  
楽しい思い出をつくります

工場の厚生旅行や利用者さんの希望旅行で、道内はもちろん、国内や海外旅行に出かけて楽しんでいます。



草津温泉にて  
湯もみ

## Area Map



## 光生舎夏まつり

毎年1,000人近くの人が集まる  
年に一度の大イベント！

赤平市百戸町にあるグラウンドで毎年開催する夏まつり。  
利用者はもちろん地域の皆さんも楽しみにしています。



夏まつり会場の様子



## 地域移行の推進

### 施設から地域生活へ ノーマライゼーションの取り組み

障がいがあっても区別されることなく、地域で暮らせるように。これまで施設に入所していた人も、地域で暮らせるグループホームの運営を積極的に進めています。



バルハ軒東／札幌市



事業所での  
野外会食



GH千翠／赤平市百戸町

グループホームでの夕食

札幌ドームでプロ野球観戦



## レクリエーション

### 個人の尊厳を守る施設運営を目指しています

余暇を思い切り楽しめるよう、果物狩りやクリスマスなど季節にあわせた行事を企画。利用者さんが主役になれるよう配慮して、レクリエーションを実施しています。



あかびら火まつりにて、市民踊りに参加



ホテルでの  
クリスマスパーティー

## スポーツ活動

### 仲間がいるから楽しめる！

ソフトボール、ティー・ボール、卓球、パークゴルフなど、スポーツ活動もさかん。働きながら余暇も充実しています。



スキー大会



ボウリング大会



ソフトボール大会



# 民間企業からスタートした 北海道光生舎の歩み

北海道光生舎の前身「赤平ドライクリーニング工場」は身体障がい者が自ら立ち上げた障がい者のための会社でした。

3年後には社会福祉法人化し、さらに7年後には営業部門を株式会社として分離。いまではクリーニング事業で道内トップクラスの売上を誇るまでに成長しました。

また、施設も当初は工場で働く身体障がい者のための寮としてスタートしましたが、その後、知的障がい、精神障がいなど対象分野を広げ、さらに高齢者や生活困窮者など多様な社会的弱者の支援も行うようになりました。最初は赤平市内だけだった事業エリアも、お隣の歌志内市に加え、人口集積地の札幌市へと広がっています。

半世紀を超える歩みのなかで、法人の規模も事業も大きく成長しましたが、原点には自らの足で立ち上がろうとした障がい者の熱い信念が息づいていることを忘れる事はありません。



リネン工場火災  
[1993(平成5)年]

1990



昭和30年代のドライ部門。当時は、洗濯機と脱水機が別々だった



創業当時、洗い場として使用された建物。奥は洋裁学校であったものをそのまま買い取った

1984(昭和59)年／  
身体障害者通所授産施設「光生舎プラザ・イン・サッポロ」開設  
札幌市に進出

1980



専員ヨーロッパ研修旅行  
[1979(昭和54)年]

1979(昭和54)年／  
赤平市に重度身体障害者授産施設「光生舎ワークショップ」開設  
赤平市に社会事業授産施設「光生舎ライト・プラザ」開設

1970



歌志内移行当時の打綿工場[1967(昭和42)年]



札幌市内に次々に営業拠点を設置し、昭和46年には月商4,000万円を突破

1966(昭和41)年／営業部門を「株式会社光生舎」として分離し、製販分離を図る  
1965(昭和40)年／  
歌志内市に「光生舎メディック・エル」を設立  
(1998年に赤平市に移転)

1960

1959(昭和34)年／  
社会福祉法人としての認可を受け「**北海道光生舎**」と名称を変更  
赤平市に身体障害者授産施設「光生舎クリーナース」を開設、病院寝具の取り扱いをスタート  
1956(昭和31)年／  
高江常男が「赤平ドライクリーニング工場」を創業



身障福祉法根本改正達成祈願 十勝岳登山  
[1966(昭和41)年7月1日]



創業50周年記念式典



名誉理事長を偲ぶ会



沖縄厚生事業協会との姉妹施設調印式で調印する  
名誉理事長【1986(昭和61年)】



三笠宮殿下にご説明される名誉理事長  
【1990(平成2年)】



創立40周年祝賀会で挨拶する名誉理事長



## 北海道光生舎を創設

名誉理事長  
高江 常男 (1927~2007)

創業者の高江常男は、小学生のときに竹とんぼがあたったことで右目を失明。送電線工事に携わっていた17歳のときには3,000ボルトの高圧電線で感電し、両腕を失いました。その後、地方紙の新聞記者として職を得て取材に歩くなか、炭鉱事故でケガをして仕事を見つけることができずにいる身体障がい者の存在を知り、彼らの仕事探しに奔走。働く場がないなら自らの手でつくろうと立ち上げたのが「赤平ドライクリーニング工場」でした。

創業までの夢と情熱の物語はアニメ映画になり、2012(平成24年)に全国で上映されたほか、常男の生涯を描いた書籍も出版されています。



アニメ映画にもなった  
名誉理事長!

「明日の希望 -高江常男物語-」  
(山田火砂子監督)



「無常忍道」  
発行／社会福祉法人北海道光生舎



シリーズ「福祉に生きる」  
62／高江常男  
発行 大空社

# 北海道光生舎 事業所一覧

## 赤平市

### ●障害者支援施設

#### 光生舎クリーナース

赤平市錦町2丁目6番地 TEL.0125-32-3221

施設入所支援[35名]・生活介護[20名]・就労継続支援(B型)[15名]・短期入所[2名]  
(昭和34年9月指定)

### ●障害者支援施設

#### 光生舎ワークショップ

赤平市錦町3丁目5番地 TEL.0125-32-3221

施設入所支援[40名]・生活介護[40名]

(昭和54年4月指定)

### ●障害者支援施設

#### 光生舎エルム・ソーアイ

赤平市錦町2丁目6番地 TEL.0125-32-3221

施設入所支援[40名]・生活介護[10名]・自立訓練(生活訓練)[10名]・就労移行支援[15名]・  
就労継続支援(B型)[15名]  
(平成5年4月指定)

### ●障害福祉サービス事業所

#### 光生舎ライト・プラザ

赤平市錦町2丁目6番地 TEL.0125-32-3221

就労継続支援(B型)[40名]・就労継続支援(A型)[10名]

(昭和54年11月指定)

### ●障害福祉サービス事業所

#### 光生舎ワークショップII

赤平市錦町3丁目6番地 TEL.0125-32-3221

就労継続支援(B型)[40名]

(平成21年10月指定)

### ●障害者支援施設

#### 光生舎メディック・エル

赤平市百戸町西1丁目2番地 TEL.0125-34-2201

施設入所支援[35名]・生活介護[25名]・就労継続支援(A型)[35名]  
(昭和44年4月指定)

### ●障害者支援施設

#### 光生舎虹の里

#### 光生舎虹の里デイサービスセンター

赤平市百戸町西2丁目2番地1 TEL.0125-34-2700

施設入所支援[60名]・生活介護[60名]・短期入所[3名]  
生活介護[15名]  
(平成14年4月指定)

### ●障害者支援施設

#### 光生舎フレビラ

赤平市百戸町東4丁目13番地1 TEL.0125-32-3507

施設入所支援[60名]・生活介護[60名]・短期入所[4名]  
(平成17年4月指定)

### ●軽費老人ホーム・特定施設入居者生活介護事業所

#### ケアハウス すいこう

赤平市百戸町西1丁目3番地 TEL.0125-34-2735

軽費老人ホーム入所[30名]・特定施設入居者生活介護[40名]  
(平成11年11月指定)

### ●共同生活援助事業所

#### ケアホーム メイプル

赤平市錦町2丁目6番地 TEL.0125-32-3221

共同生活援助(介護サービス包括型)[93名] ※令和元年5月31日現在  
(平成17年4月指定)

### ●指定特定相談支援事業所

#### そだんのていくく

赤平市大町4丁目6番地2 TEL.0125-74-6350

障害児・者計画相談作成  
(平成24年4月指定)

### ●障害児通所支援事業所

#### きつづていくく

赤平市大町4丁目6番地2 TEL.0125-74-6095

放課後等デイサービス[10名]  
(平成28年4月指定)

## 芦別市

### ●障害児通所支援事業所

#### きつづていくあしべつ

芦別市北7条西2丁目7番地 TEL.0124-27-9400

放課後等デイサービス・児童発達支援[10名]

(平成31年4月指定)

## 歌志内市

### ●障害福祉サービス事業所

#### 光生舎クリーン・セブン

歌志内市歌神41番地 TEL.0125-42-2456

就労継続支援(A型)[20名]

(平成11年1月指定)

### ●特別養護老人ホーム

#### しらかば荘

歌志内市字神威280番地 TEL.0125-42-5331

特別養護老人ホーム入所[50名]・短期入所[6名]

(平成24年4月指定)

### ●救護施設

#### 親愛の家

歌志内市字文珠165番地4 TEL.0125-42-2673

救護施設入所[100名]

(平成22年10月指定)

## 札幌市

### ●障害福祉サービス事業所

#### 光生舎プラザ・イン・サッポロ

札幌市西区発寒8条10丁目 TEL.011-664-1888

就労継続支援(B型)[30名]・就労継続支援(A型)[10名]

(昭和59年4月指定)

### ●障害福祉サービス事業所

#### 光生舎フロンティア

札幌市西区二十四軒2条1丁目 TEL.011-624-0200

就労継続支援(A型)[40名]

(平成26年4月指定)

### ●特別養護老人ホーム、デイサービス、居宅介護支援事業所

#### 光生舎ゆいま～る・もみじ台

札幌市厚別区もみじ台南3丁目4番地 TEL.011-899-1600

特別養護老人ホーム入所[80名]・短期入所[10名]・デイサービス[24名]・

居宅介護支援(ケアプラン作成)

(平成24年11月指定)(平成27年7月新築)

### ●障害福祉サービス事業所

#### 光生舎く・る・る

札幌市厚別区もみじ台南3丁目4番地 TEL.011-899-1600

就労継続支援(B型)[20名]・就労継続支援(A型)[20名]

(平成24年11月指定)

### ●障害福祉サービス事業所

#### 光生舎スクエア

札幌市白石区米里1条2丁目3番4 TEL.011-826-3980

就労継続支援(A型)[20名]

(令和2年4月指定)

### ●共同生活援助事業所

#### グループホーム パル

札幌市西区八軒1条東5丁目

共同生活援助(介護サービス包括型)[25名]

(平成30年11月指定)

### ●共同生活援助事業所

#### グループホーム ピノ

札幌市白石区菊水元町7条1丁目10-10

共同生活援助(介護サービス包括型)[6名]

(令和2年4月指定)

※[○○名]は、定員数です。



社会福祉法人 北海道光生舎

Tel. 09-1135 北海道赤平市錦町2丁目6番地

TEL.0125-32-3221 FAX.0125-32-5176

E-mail:koseisha@nifty.com



ウェブサイト

<http://www.koseisha.or.jp/>



Instagram  
@hokkaidokoseisha